



池田町長

町長 施政方針

平成29年第1回定例会に報告2件・承認1件・条例制定案1件・改正案6件・予算案8件・その他16件の34議案を提案した。3期目に就任したのが2月27日であったため、予算調整を行う時間的余裕がなく、経常的経費を中心とした骨格予算となった。できるだけ早い時期に肉付け予算を提案する。

- 一、思いやりと協働のまちづくり
 - (1) 集落活動を支援

各地で活動が活発に行われている。薬膳料理の開発・若者定住の取り組み・集落活動センターの設立を視野に地域ビジネスの支援をする。
 - (2) 協定期限が3年を経過

高知県立大学との包括連携協定期間の更新を予定。「津野山学」の推進に力点を置き、地域づくり活動の核となる人材の育成を図る。
- 二、地域資源を活かした豊かなまちづくり
 - (1) 志国高知幕末維新博が開幕

吉村虎太郎邸を地域会場、片岡直輝・直温氏の生家と郷土資料館をサブ会場として交流人口の拡大を図る。虎太郎邸のホームページを立ち上げ、観光情報の発信も行う。
 - (2) 林業機械の導入補助を行い、生産効率の向上を図る。
- 三、自然と調和するまちづくり
 - (1) 移住定住対策事業の拡充

町外からの移住を促進。若者層の町外への流出を緩和し、事業の拡大を図る。
 - (2) 簡易水道の整備促進

町内10の簡易水道を「津野町簡易水道」とし、白石地区の整備や新田地区の水道管の更新も実施設計に着手する。
 - (3) 健康マイレージ事業

特定健診やガン検診、母子保健事業・健康づくり事業などの参画にポイントを付与し特典を受けることができる。
 - (4) 第7期介護保険事業等の計画策定

平成30年度から32年度までの3年間の介護保険事業の計画の策定を行う。今後の高齢者の動向を勘案し、中長期的な目標・具体的な施策を明らかにする。
 - (5) 老人福祉センター

西地区の拠点事務所としての活用を予定しているが、築30年を経過しており、要望や提案を聞きながら改修工事に着手する。
- 四、健康で笑顔あふれるまちづくり
 - (1) コミュニティバスの試験運行

9月末まで運行を継続し、利用者の満足度や乗降者数などの利用状況の評価・検証し利便性の向上を図る。
 - (2) 子育て応援金

第1子5万円・第2子10万円・第3子以降30万円を出産時に支援する。所得制限のある第2子の保育料の制限を撤廃し、18歳未満の多子世帯の第2子の保育料を半額とする。
 - (3) 健康マイレージ事業

特定健診やガン検診、母子保健事業・健康づくり事業などの参画にポイントを付与し特典を受けることができる。
 - (4) 第7期介護保険事業等の計画策定

平成30年度から32年度までの3年間の介護保険事業の計画の策定を行う。今後の高齢者の動向を勘案し、中長期的な目標・具体的な施策を明らかにする。
 - (5) 老人福祉センター

西地区の拠点事務所としての活用を予定しているが、築30年を経過しており、要望や提案を聞きながら改修工事に着手する。
- 五、健やかで心豊かなひとづくり
 - 学力向上対策室を設置して4年が経過した。児童・生徒・教員の授業に対する意識の向上が図られ、調査からも成果がみられる。
 - 六、効率的で健全な行財政運営によるまちづくり

合併以来、人件費の削減・公債費の繰上償還・小学校の統合・幼保一元化等の財政改革で健全な状況を保っている。一方、景気対策や葉山運動公園総合センター・集落活動拠点施設・し尿処理施設等の大型整備事業により町債残高が増加。公債費を抑えるため繰上償還を実施して町債の発行を抑制する。
 - 本町における財政の健全化はされているが、依然として財政力が低く、地方交付税に大きく依存している状況には変わりがない。さらなる行政改革を推進していく。